

# Deals from PwC

Drive your growth. Secure your future.

世界の医薬・ライフサイエンス業界のM&Aに関するインサイト  
2019年第1四半期

## エグゼクティブサマリー

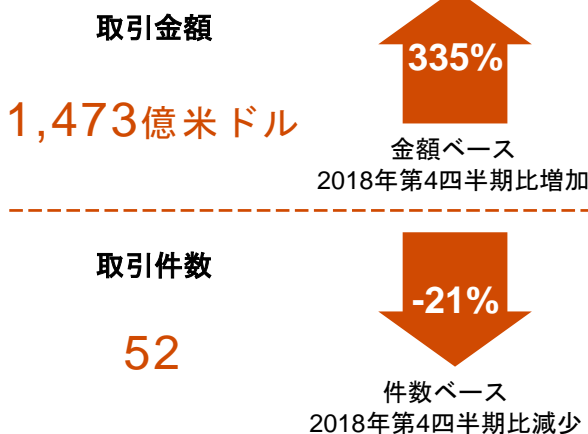
2019年第1四半期における医薬・ライフサイエンス業界のM&A活動は堅調であり、今年はこの先も年間を通じて活況が予想される。1月初めに発表されたBristol Myers Squibb社（以下、BMS社）によるCelgene社の買収を含む今四半期成立した3件の大型案件は、取引額を大幅に押し上げ、また取引件数も前年同期から増加した。2019年第1四半期の買収の活発化は、長期的な競争力につながる規模の必要性や、近年のテーマであるイノベーションとともに、業界における継続的な成長を続けるためには、ビッグデータの活用が必要である点を強調している。



「既に公表されている総額約1,500億米ドルの案件によって第1四半期が今年を牽引し、2019年のM&Aは予想通り極めて活発になるだろう。大半の大手企業での経営陣交代、資本市場の正常化、そして強い買収意欲を背景に、企業は買収による成長政策に従って行動している。サブセクターはいずれも前四半期が好調であったため、2019年は買収も売却も（分社化を含め）活発になるだろうと予想している。」

—グレン・ハンジンガー PwC米国 医薬・ライフサイエンス ディールリーダー

2019年第1四半期 vs. 2018年第4四半期



### サブセクター

	現状	見通し
医薬品	↓	↗
バイオ	↑	↑
医療機器	↘	↗
その他・サービス	↗	→

### 主要なトレンドと2019年第1四半期のハイライト\*（対2018年第4四半期）

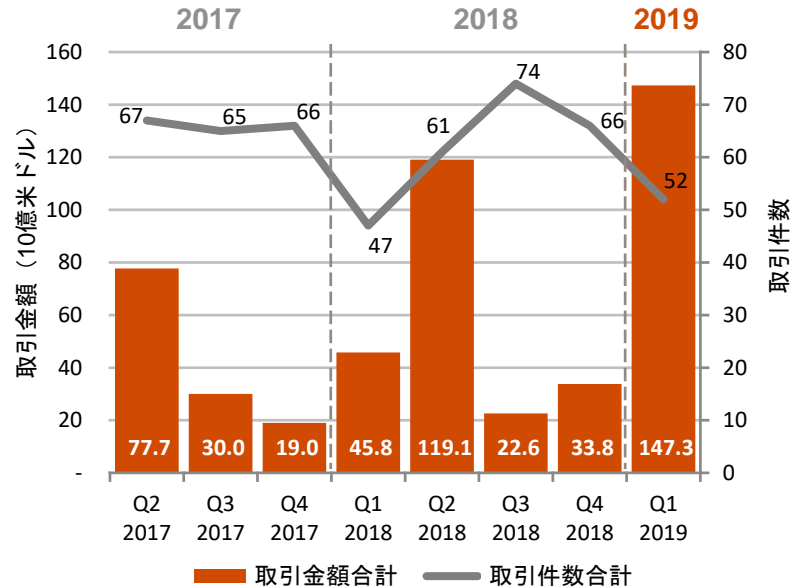
- 2019年第1四半期、**医薬品サブセクター**は取引金額、取引件数ともに減少したものの、医薬・ライフサイエンス業界の中では最も高い数字を記録した。これはこの先の数四半期にわたり、金額・件数がさらに増大する可能性を示すものと考えている。
- バイオサブセクター**は、BMS社によるCelgene社の買収が示すように、2019年第1四半期は復活を果たした。同案件を除いても、当セクターは対2018年第4四半期で160%の成長を遂げている。
- 医療機器サブセクター**は2018年の減少傾向が継続し、過去数年間で最低の取引金額と取引件数となった。しかし、大手の多くが過去の業態変更につながるような案件で獲得した事業を統合することから、タックイン型の小型案件が牽引して取引は回復すると予想。
- その他サブセクター**は2017年第2四半期以来、四半期としては最も大きな取引金額を達成。Denaher社による214億米ドルのGE社バイオファーマ事業買収をはじめとする、今期10大案件中の3案件がその牽引役となった。

\*データはCapital IQ社の提供する2019年3月31日現在のもの。JV案件を含まない。

# 2019年第1四半期のハイライト

## 取引金額・件数概観

- 2019年第1四半期の取引金額は、過去8四半期で最高であったが、取引件数は同期間において2番目の少なさであった。
- 2019年第1四半期の件数は、2四半期連続で減少したものの、過去2年間での四半期実績件数の範囲内を維持した。
- 2018年第4四半期の大型案件は、取引総額が110億米ドルとなる2件にとどまったが、今四半期は3件の大型案件が成立し取引総額は約1,290億米ドルに達した。
- 2017年第2四半期、2018年第2四半期、2019年第1四半期における取引金額の急激な増加は、全て重要な大型案件がその要因である。



## 最大の案件

今四半期に発表された最大の案件は、BMS社によるCelgene社の買収であった。米国の製薬大手BMS社は、約1,000億米ドルでのCelgene社買収に合意したが、これはここ数年で最大の案件となった。

996億  
米ドル



## 大型案件 (50億米ドル以上)

2019年第1四半期の大型案件は3件で、取引総額は1,290億米ドルに上り、過去2年間における業界の最高取引額となった。

大型案件：  
3件



## 2019年第1四半期の医薬・ライフサイエンス業界大型案件

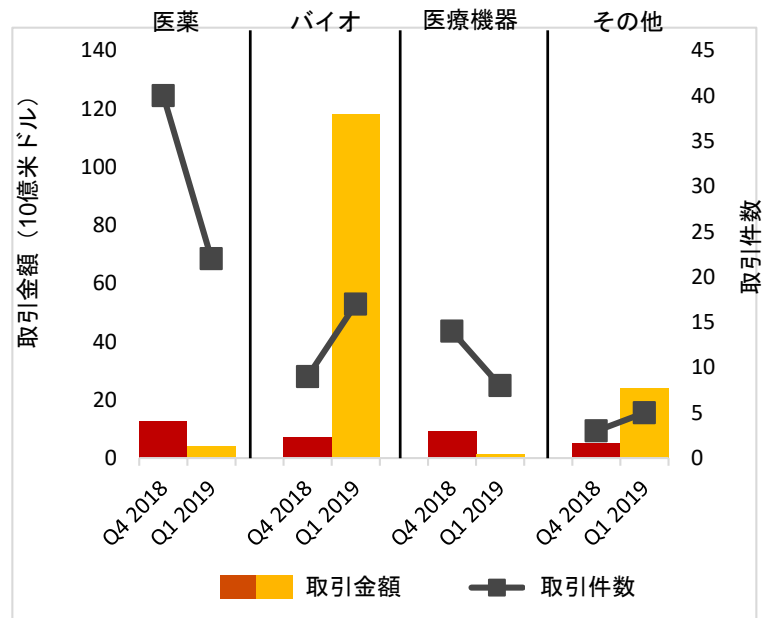
公表日	ターゲット企業	所在国・地域	買手企業	所在国・地域	取引金額 (100万米ドル)	分野
2019年1月3日	Celgene Corporation	米国	Bristol-Myers Squibb Company	米国	99,554	バイオ
2019年2月25日	BioPharma Business of General Electric Company	米国	Danaher Corporation	米国	21,400	その他
2019年1月7日	Loxo Oncology, Inc.	米国	Eli Lilly and Company	米国	8,013	バイオ

# 2019年第1四半期のサブセクター別案件動向

## サブセクター別公表取引件数・取引金額

- ・医薬サブセクターは、2019年第1四半期は2018年第4四半期と比較して取引件数が大きく減少。今四半期、取引金額も減少した。
- ・バイオサブセクターは2件の大型案件により取引金額が大幅に増加。さらに取引件数も顕著に増加した。
- ・医療機器サブセクターは取引金額、取引件数ともに減少し、今四半期の取引金額はわずか12億米ドルであった。
- ・その他・サービスサブセクターは取引件数、取引金額ともに増加。Danaher社によるGE社バイオファーマ事業の買収が要因となって、金額は210億米ドルに達した。

## サブセクター別取引金額・件数



## サブセクター別ハイライトと見通し

2019年第1四半期は、サブセクターの中では**医薬サブセクター**が取引最高件数トップを維持した。しかし取引額で上位10件に入ったのは1案件（Harvest社による9億米ドルでのVerano Holdingsの買収）のみとなり、取引金額は減少。本サブセクターでもっともM&Aが活発なのは医療大麻関連分野で、案件の大半はカナダの複数の買手企業とターゲット企業が牽引している。医薬サブセクターでは2018年第4四半期と同様、国外・クロスボーダー取引が引き続き増加傾向にあり、22案件のうち米国国内取引はわずか4件であった。

企業は機能の強化と規模の拡大による利益の増大を目指しており、案件の多さは年間を通じてM&Aが活発化することを示唆している。しかし、薬価やその他の規制面を中心とした不確実性が続けば、これらの透明性が得られない限り、買手企業は業態変更につながるような大型案件に多額の資本を投下する意欲を削がれるだろう。

資本市場の高いバリュエーションにより、買手にとってM&Aの機会が制限され、数四半期にわたり案件が減少した後、**バイオサブセクター**は2019年第1四半期に入って取引件数、金額ともに好調となった。今四半期、上位10案件のうち6案件が当セクターであり、前ページで紹介した大型案件2件が含まれている。多額の資本へのアクセスを有し買収を予定する買手が、ポートフォリオとデジタル機能の強化を目的として多様な潜在的ターゲットを検討しているため、当サブセクターのM&Aは活発さを維持すると予想される。

**医療機器サブセクター**は、8案件で合計額が12億米ドルと、過去3年間で取引金額、取引件数ともに最低を記録。業界最大手数社が事業統合に重点を置く一方、他社はポルトオン型、タックイン型買収を重視し続けている。この傾向が今後も続くと予想される。

CRO・CDMO等の**その他・サービスサブセクター**では変化の少ない四半期が続いていたが、Danaher社による214億米ドルのGE社バイオファーマ事業買収により、取引金額が急増。GE社の部門売却は、PHC Holdings社による11億米ドルのThermo Fisher社解剖病理事業の買収とともに、企業が事業ポートフォリオの調整を続けるという当サブセクターにおける主要トレンドを示唆している。

2019年第1四半期、**動物用医薬サブセクター**では重要なM&A活動は見られなかったが、プライベート・エクイティの関心は引き続き高いだろう。コンパニオンアニマル分野は収益力の高さと成長可能性により、魅力的な状況に変わりはないが、天然・オーガニック商品への消費者の嗜好もあり、この分野で買収を検討する買手が大型取引の実行を控える不確実性を十分に作り出している可能性がある。

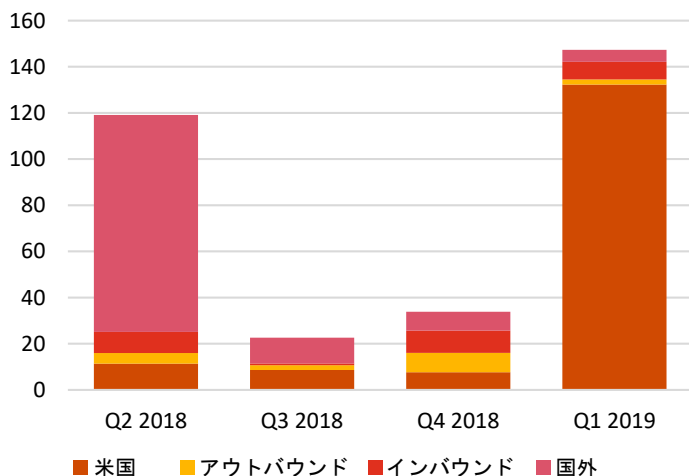
# 2019年第1四半期の傾向

## 2019年第1四半期の上位10案件

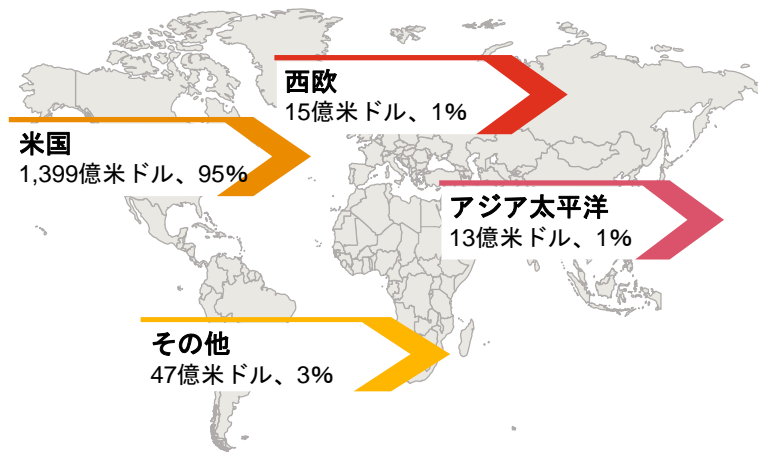
公表日	被買収企業	所在国	買収企業	所在国	取引金額 (100万米ドル)	分野
2019年1月3日	Celgene Corporation	米国	Bristol-Myers Squibb Company	米国	99,554	バイオ
2019年2月25日	BioPharma Business of General Electric Company	米国	Danaher Corporation	米国	21,400	その他
2019年1月7日	Loxo Oncology, Inc.	米国	Eli Lilly and Company	米国	8,013	バイオ
2019年2月25日	Spark Therapeutics, Inc.	米国	Roche Holding AG	スイス	4,851	バイオ
2019年3月24日	Brammer Bio, LLC	米国	Thermo Fisher Scientific Inc.	米国	1,700	バイオ
2019年2月25日	Clementia Pharmaceuticals Inc.	カナダ	Ipsen S.A.	カナダ	1,298	バイオ
2019年1月28日	Anatomical Pathology Business of Thermo Fisher Scientific Inc.	米国	PHC Holdings Corporation	日本	1,140	その他
2019年3月12日	Biogen (Denmark) Manufacturing ApS	デンマーク	FUJIFILM Diosynth Biotechnologies Inc.	米国	890	その他
2019年3月4日	Nightstar Therapeutics plc	英国	Biogen Inc.	米国	877	バイオ
2019年3月11日	Verano Holdings, LLC	米国	Harvest Health & Recreation Inc.	カナダ	850	医薬

## 過去4四半期の地域別分析

取引分類別取引金額



ターゲット企業の所在地別取引



## クロスボーダー案件の分析

- 米国案件が2019年第1四半期の取引総額の90%を占めた。3大案件は、BMS社による990億米ドルでのCelgene社買収、Danaher社による210億米ドルでのGE社バイオファーマ事業の買収、Eli Lilly社による80億米ドルでのLoxo Oncology社の買収であり、3件全てが米国国内案件であった。
- 過去三四半期は、取引金額ベースでは国外企業に関わる取引が大半であったが、2019年第1四半期は米国からのアウトバウンド、米国へのインバウンド、国外案件ともに取引金額が減少した。

## ターゲット企業の所在地別分析

- 2019年第1四半期の取引金額ベースでは、米国が最大の地域であった。また取引件数も最も多く、全件数の約半分を占める25件であった。
- アジア太平洋は、取引金額ベースで2018年第4四半期は18%を占めていたが、2019年第1四半期には1%に減少した。さらに取引件数も前期の10件から2019年第1四半期は6件に減少。
- 西欧も、取引総額ベースで2018年第4四半期の25%から、今四半期は1%まで大幅に減少した。
- その他地域は、2018年第4四半期は取引金額ベースで21億米ドルであったが、2019年第1四半期は47億米ドルに増加した。

# お問い合わせ

## 三平 充宏

PwCアドバイザリー合同会社

パートナー

医薬・ライフサイエンス、  
ヘルスケアセクターリーダー

090-2481-3369

[mitsuhiro.mihira@pwc.com](mailto:mitsuhiro.mihira@pwc.com)

## 著者

### Glenn Hunzinger

PwC Deals Partner,  
US Pharmaceutical and Life  
Sciences Leader

### Brian Geiger

PwC Deals Principal

PwCディールズの部門スタッフは、お客様が十分な情報を踏まえ、自信を持って戦略的決断を行えるように、M&Aに伴うリスクをご理解いただくお手伝いをしています。案件交渉の段階から統合過程で確実にシナジーを実現する段階まで、PwCは、お客様が価値を実現し、最終的にその価値をステークホルダーに還元するまでサポートいたします。経営が厳しい状況にある場合は、危機対応や財務・業務の再編、さらには法的整理に関する助言も提供しています。

PwCディールズプラクティスは、医薬・ライフサイエンス分野の企業とこの分野を重点対象とするプライベートエクイティに対しM&A関連の幅広い助言サービスを提供しています。この中には、買収候補や部門売却候補の特定、詳細なバイサイドのデューデリジェンスの実施、取引成立後の利益確保に向けた戦略策定、さらには売却、分割、IPOなどの出口戦略が含まれます。PwCの経験豊富なディールチームは、医薬・ライフサイエンス業界の深い知見を有し、地域特性にも精通しています。ディール専門スタッフは世界全体で2万人を超えており、クライアントの事業展開地域や対象企業の所在国・地域にかかわらず、世界のほぼ全ての地域にヘルスケアサービス分野のみならず現地市場についても知識や経験が豊富なチームを派遣することが可能です。

案件には一つとして同じものはありませんが、戦略的M&Aに関する助言やデューデリジェンス、取引のストラクチャリング、M&A税務、事業統合、バリュエーション、取引後のサービスなど、当社の幅広い経験は多くの場面で効果を発揮します。一言でいえば、お客様の目的が買収や合併を通じた投資であれば、IPOや私募債による資金調達、あるいは部門売却による投資回収であれば、PwCは、個別の案件状況に合わせ、それぞれのリスク特性の範囲内で最大の価値を引き出せるように設計された総合的なソリューションを提供いたします。

医薬・ライフサイエンス、ヘルスケアのM&Aおよび関連サービスについて、詳細は以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.pwc.com/jp/ja/services/deals/mergers-acquisitions.html>

<https://www.pwc.com/jp/ja/industries/healthcare.html>

日本における医薬・ライフサイエンスに関する情報については、以下のウェブサイトをご参照ください。

<https://www.pwc.com/jp/ja/industries/pls.html>

## データについて

本レポートではM&Aを、ターゲット企業が米国を拠点とする企業であって買手企業が米国または外国の企業である買収・合併、または被買収企業が外国企業であって買手企業が米国または外国の医薬・ライフサイエンス企業である買収・合併と定義しています。また、部門売却は、米国を拠点とする企業または外国企業が事業全体ではなくその一部を売却することと定義しています。分析は、業界で認められた情報源が提供するデータに基づいて行っています。特に、本レポートの随所に使われている取引金額や取引件数は、Capital IQ社が2019年3月31日現在提供している公表金額が150万米ドルを超える案件の発表日現在のデータに、独自の調査結果を加えたものです。

過去の期間の情報については、過去の期間に成立した取引に関してCapital IQ社がその後収集し、過去のデータには反映されていない新しいデータに基づいて定期的に更新しています。取引情報はCapital IQ社のものを使用しており、買手企業または被買収企業が医薬・ライフサイエンス分野のサブセクターであるバイオ、医療機器、医薬品、その他（委託製造企業など）のいずれかに属する案件を含みます。また、医薬・ライフサイエンス業界に属さない案件を除外するため、一部情報に変更を加えています。資本市場や株式利回りに関する情報も、Capital IQ社から得ています。